

Campus Today



松本歯科大学

発行所 学校法人 松本歯科大学

長野県塩尻市広丘郷原1780

☎ (0263) 52-3100

www.mdu.ac.jp

1部60円

日本口腔外科学会中部支部学術集会を本学で開催

口腔顎顔面外科学講座・栗原祐史教授が大会長 研究成果や最新知見を学び、活発に情報交換

第49回公益社団法人日本口腔外科学会中部支部学術集会が6月22日（土）、松本歯科大学7階講堂で開かれた。「若手口腔外科医の育成を目指して」を大会テーマに、特別講演、理事長講演など4つのプログラムを編成し、各演者が専門分野に関して最新の知見を踏まえてわかりやすく講演した。一般口演およびポスター発表においても多くの演題登録があり、それぞれ熱心な質疑応答が重ねられ、充実した学術集会となった。

本学での開催は19年ぶり4回目であり、会場をこれまでの大会同様に大学講堂とした。ポストコロナの時代となり、最近では多くの学会が、現地開催のみとなってきた。現地開催は、会場の雰囲気を感じ、他施設の先生との直接交流できるなど、多くの魅力がある。一方、Web開催は、オンデマンド配信など、日時に縛られず、講演を自分のペースで聴けるというメリットもある。そこで今回は、本学講

堂では初めての2つを重ね合わせたハイブリッド開催とし、中部地区を中心に394人にご参加いただいた。しかしながら、インターネット回線の都合上、急きよ、スライドと音声のみの中継となってしまう、Web開催の難しさも痛感した。

特別講演では「EGF関連疾患の診断と治療」をテーマに、本学内科学特任教授の川茂幸先生にご登壇いただき、世界で初めて川先生が見出された「EGF



大会長の栗原教授（右）と特別講演をした川特任教授（左から2番目）ほか関係の先生方

関連疾患のこれまでの研究成果について、たいへん詳しくご講演いただいた。川先生はご講演の中で、「1症例1症例、丁寧に診察することで、新しい知見を見出すことができた」と話しておられ、われわれも日々の診療の大切さをあらためて認識した。

理事長講演では、「昨年度の反省と今後の目標」と題して、日本口腔外科学会理事長の池邊哲郎先生に、これからの口腔外科が目指すところを、学会のお立場からお話いただいた。

歯科臨床医リフレッシュセミナーでは、本学歯科放射線学講

座教授の田口明先生に、「医科歯科連携による骨吸収抑制剤関連顎骨壊死への対応」のテーマで、昨年改定された骨吸収抑制剤関連顎骨壊死のポジションペーパーについて、詳細にご解説いただいた。また、ミニシンポジウムでは、本学の当講座（口腔顎顔面外科学講座）の佐藤工助教がシンポジストとして登壇し、「顎矯正手術における精度および安定性向上への工夫」と題して、顎変形症手術におけるこれまでの取り組みについて講演した。

一般演題では、若手の先生を

歯学部学生が防犯・防災を学ぶ

塩尻警察署安全安心講習会

塩尻警察署の安全安心講習会が7月3日（水）、本学7階講堂で行われた。学生たちに、身近に潜むさまざまなリスクを知ってもらいより安全な学生生活を送ってもらおうと、コロナ禍の中断を経て久しぶりに開催された。歯学部学生約430人が参加し、誰もが巻き込まれる可能性のある犯罪や交通事故、自然災害から身を守る方法を聞き、理解を深めた。

生活安全課の赤羽里美課長は「闇バイト等の犯罪に加入しないために―後悔しない生き方を―」をテーマに話した。アルバイト感覚で、オレオレ詐欺や架空金請求詐欺の「受け子」や「出し子」となり、犯罪に加入してしまう事例など紹介した。

犯罪グループはSNSを利用して勧誘。接触してきた人に身分証明書の表裏を送るよう指示し、送られた個人情報報告を盾に懐柔する手口もあるといい、「誘い文句にひっかかり、



交通事故防止について話す上林課長

遊ぶ金欲しさに安易に犯行に加担してしまう。悪いことだと思わなかったでは済まされない。軽い気持ちでも絶対に手を出さないようにしてほしい」と警鐘を鳴らした。

交通課の上林浩課長は、管内の交通事故発生現場を地図に記した資料を示しながら、管内人口と交通事故発生件数から「計算上、管内の人は1年半で1回交通事故を起こしている。3年住んでいれば2回は何らかの事故に遭うということになる」とした。その上で「しっかりと見ていけば事故の8割は防げる」とも話し、交通事故を起こさないための三つの防止策として「出し子」となり、犯罪に加入してしまう事例など紹介した。

宇田川信之歯学部長は、学生たちの間でここ数年増加傾向にある交通事故や、身近なところでも起こり得る窃盗事件や詐欺事件など踏まえ「世の中は良くも悪くも変化してきている。きちんとした人間として生きる覚悟を持って、自分でよく考えて行動してほしい」と学生たちが、安全に安心して学生生活を送れることを願っていた。

中心に42演題の発表があり、こちらも活発な質疑応答がなされた。

全体を通して充実した大会であったと考えている。これらにご参加いただいた方々のお陰である。学術集会の内容は、7月1日（月）から19日（金）まで、オンデマンドでも配信し、多くの方にご聴講いただいた。関係するすべての方々にあらためて感謝するとともに、今回の学術集会を、これからの診療・研究の一助としていただければ幸に思う。

口腔顎顔面外科学講座 教授 栗原祐史

19期生
土井寛則先生が
児童文学集を出版



都知事選の供託金は300万円から3000万円にすべきだ

内閣官房参事
松本歯科大学常務理事
特命教授
飯島 勲

今月号は『プレジデント』8月16日号「リーダーの掟 飯島勲」より、立候補者、有権者双方に問題を感じたという東京都知事選挙についての記事を要約して紹介します。

東京都知事選挙は終わってしまえば、現職の小池百合子氏の圧勝だった。その結果はともかく、史上最多の56人が立候補した今回の選挙は、政策論争が全く盛り上がりせず、日本の政治の未来に不安を感じてしまった。これは立候補者、有権者双方に問題があるように思う。

まずは、56人の立候補者のほとんどが、本気で都知事になることを考えていなかったというのが大問題だ。彼らは、供託金

で、導入当初はそれこそ家を建てられるくらいの金額が設定されていた。選挙に立候補するには、全財産を担保に借金するぐらいの覚悟が必要だったのである。公職選挙法の改正とともに供託金の金額も上がってはいるものの、貨幣価値の変化のほう



都知事選に56人が立候補、ポスター掲示枠の枠を超える

が早く、今回の都知事選では300万円は覚悟を試すものではな

なく、単なるゲーム参加費と捉えられたのが非常に残念である。東京都知事という仕事は、約1400万人の都民の命を預かり、スウェーデン一国の国家予算に匹敵する約17兆円の財政に責任を持つ重大な仕事である。ある意味で国政選挙以上に大きなポストを決めるものだ。それを、遊び感覚で扱ってもらいたくない。次回の供託金は一気に10倍の3000万円に値上げして、本気の立候補者による政策論争が見たいものだ。政見放送やポスターから完全に遊んでい

る。有権者も見分けがつくが、得票数が上位の候補者たちも、本気で都知事を目指していなかったと疑わざるをえない。当初、小池都知事のライバルと目されていた蓮舫氏や、選挙戦を通じて

創立者の「視点」



大学誌編集主幹
特任教授
笠原 浩

かつての医療の目的は、なによりも「病気の治療」と「延命」であった。筆者も「避けられない死であっても、その患者の生命の灯をたとえ1日でも1時間でも永らえさせることが、医者たるものの務めだ」と教えられていた。そこで筆者も、市中病院に勤務していた時代には、口腔癌の末期患者などが臨終を迎える段階となり、呼吸停止すれば人工呼吸、心停止すれば心マッサージ、最後は左心室へのアドレナリン注射と、あらゆる手を尽くして延命治療を行ったものだった。

考えてみれば、このような「無益な医療行為」は、穏やかな最期を迎えたい患者ご本人にとっても、別れを惜しまたいご家族にとっても、けっして望ましいことではないはずである。筆者も、こうした延命治療を繰り返して経験する（独身時代は病院に泊まり込んでいて、当直医の手伝いをすることも多かったのだ）、うちに、自分自身がそういう目には遭いたくないと思うようにもなっていた。たまたま、入院していた口腔癌末期の男性が、どうしてもご自宅で最期を迎えたと熱望された。すでに内臓にも転移があり、内科の医師から余命1カ月と診断されていた。超高齢であるためか痛もおとなしいようで、痛みや苦しきもほとんどなかったのだ。筆者は退院を許可し、定期的な訪問診療で対応することとした。住みなれた家に帰り、奥さんと娘さんの介護で経口摂

市民公開シンポジウム開催 正村 正仁准教授が講演 令和6年度長野県小児保健研究会



研究会で説明する正村准教授

令和6年度の長野県小児保健研究会が6月29日（土）図書館にて本学との共催で開催されました。

研究会では2題の演題発表を行い、総会後には『未来あるジュニアアスリートを地域で大切に育てよう！』のテーマで市民公開シンポジウムを開催しまし

た。講演Ⅰでは本学の正村正仁准教授が「顎口腔外傷の予防におけるマウスガードの有用性と小児への応用時の注意点」と題して講演を行いました。また、講

取り組まれており、部活動に組み込む10代の健康を守るべく、教育の現場にも実際に携わっていました。講演では、はじめにスポーツにおける相対的なエネルギー不足（REDS）について説明をしていただきました。REDSは利用可能エネルギー不足を伴うアスリートにみられ、健康とパフォーマンスに有害な結果をもたらす症候群とされている。利用可能なエネルギー不足の健康障害のうち、骨への影響については10代から医学的な介入が重要となっており、10代で低骨密度を認めるアスリートには45倍程度の疲労骨折のリスクが高く、疲労骨折の好発年齢は競技レベルに問わず16歳から17歳と10代で多いことを説明されました。これらは、ジュニアアスリートのパフォーマンスや健康障害を考える上で重要であり、利用エネルギー不足の改善はアスリートに関わる多職種

の専門家が考える必要がある問題であると述べられました。また、昨今問題となっているア

スリートの月経困難症や月経前症候群等の随伴症状は、アスリートのコンディションやパフォーマンスに影響を与える問題であることから、これらの概要や疾患に対してのホルモン製剤治療法や使用の開始の決定、副作用についてもご説明をいただきました。本講演は女性アスリートが産婦人科を受診した際、無月経や月経随伴症状に対してどのような治療を行っているのか、これまでの調査結果を紹介

し解説された有意義な講演会で

野県小児保健研究会は、長野県内で活動している小児保健に関わる専門家（小児科医師、歯科医師、看護師、保健師、養護教諭、児童福祉施設職員、幼稚園・保育園関係者、行政関係者など）からなるユニークな学会で、毎年夏頃に開催されております。興味ある方はご参加ください。

（小児歯科学講座 教授 大須賀直人）

歯の健康の大切さを伝える

『おさんぽフェス』松本で開催

松本市の中心市街地の施設を巡り、各所の催しを楽しむ家族向けイベント「おさんぽフェス」（ママフェス松本主催、県など後援）が6月29日（土）に開かれた。本学はイベント会場の一つ、松本パルコ内に「小児歯科相談」のブースを出店し、訪れる人たちに歯みがきのこつや歯

の健康の大切さを伝えた。本学のブースは、小児歯科の歯科医師や歯科衛生士、衛生学院生や研修歯科医の有志などの協力で運営し、歯科検診や歯科相談、仕上げ磨きの実演指導などをした。歯科医療関係者からリラックスした雰



歯磨きの練習をする参加者

明るい未来が見えたのは、都知事選得票数の5位に入ったA I エンジニアでSF作家の安野貴博氏の存在だ。「テクノロジィで誰も取り残さない東京へ」というビジョンが明確で、個別の政策も具体的に感心した。主要候補の誰よりも都知事になって何をやりたいのかが伝わってきた。A I を使って有権者と対話を続けながら、選挙期間中も政策改善を続けていたのも新しい。今回の都知事選を通じて、政策について一番議論したのは安野氏と彼の支持者たちかもしれない。対立候補を批判せず、自身の政策で勝負する姿勢も好感が持てる。地上波の報道にはあまり取り上げられなくても、15万票以上を獲得した。彼の選挙活動に民主主義を未来につなぐヒントがあるような気がする。

新しい歯科医療を求めて(2)

たが、まるで栓を抜いた浴槽にお湯を貯めようとするかのようだったという。おそらく輸血量の世界新記録だっただろう。呼吸が止まれば人工呼吸器、心臓が止まれば人工心肺などさまざまな器械を使って「無理やり」に生き続けさせられる……「高齢のご本人にとってはさぞかしお辛かった事だろうと思われ

塩尻市内の中学生が病院で職場体験 — 歯科医療に理解を深める —



歯科医師の仕事を経験するタバさんとラジーンさん（右）

松本歯科大学病院は7月、塩尻市内の広陵中学校と丘中学校から、医療機関での職場体験を希望する中学2年生たちを受け入れた。実際に現場で行われていることや、医療の専門職に就くために必要な学びなどにも理解を深めてもらう多彩な企画を提供し、中学生たちが熱心に参加していた。

職場体験は両校とも2年生の「総合的な学習・キャリア教育」の一環で行っていて、実習先は、学校側が生徒から体験したい職種や職場の希望を聞き取り、近隣で協力可能な事業所を探し、実施している。

広陵中からは7月17日（水）に、タバ・アーラディヤさん（14）とラジーン・ラティさん（14）の2人が訪れた。2人は白衣に着替えて、初診室で診察準備や診察の様子を見学したあと、森啓特任教授の指導でコンポジットレジンを使った修復治療を模擬体験した。チェアのヘッドレストに顎模型を付けたマネキンで、役割を替えながらそれぞれ、歯科医師と歯科衛生

士の仕事を模擬体験した。

タービンで実際に歯を削る場面では、森特任教授やサポートした実習生の実演を見たり、助言を聞いたりしながら2人とも慎重に手を動かかし、咬合調整にも取り組みんでいた。歯科医師を目指しているというラジーンさんは「歯を削るのは初めてで緊張したけれど、とても興味深かった」



タービンで歯を削る体験

と話し、削った義歯を記念として贈られると、うれしそうにしていた。森特任教授は「今日体験してもらったことは実習の一

つにすぎず、医療者は患者さんとのコミュニケーションも大切な仕事」といい、「今日の体験が今後いろいろなことを考えるきっかけになってくれれば」とエールを送った。

2人はこの後、歯科医師に歯科医師の仕事についてじっくりと質問したり、学生食堂で昼食を食べたり、特別専門外来や薬局などにも訪れたりして、さまざまな専門職の連携で成り立つ医療機関の仕事に理解を深めていた。

小山先生が優秀発表賞を受賞 第97回松本歯科大学学会（総会）

第97回松本歯科大学学会の総会が7月4日（木）に開催された。

今回の学会では7演題の申込

経済的負担無く通院でき、治療者間の連絡も取りやすいという利点が本施設にあります。この利点を最大限に活かすために、口腔外科医と矯正歯科医による共同所見採得や毎月第一水曜日に合同検討会を開催し、情報共有による治療の向上に努めています。

唇顎口蓋裂等の先天性疾患の治療は当病院口腔外科、および県内の基幹病院と病診連携を構築し治療にあたっています。先天性疾患の治療では出生時よりほぼ成人になるまで治療が必要となるため、治療者間の連携が非常に重要となります。関連病院と定期的な合同検討会や市民公開講座を開催しており、患者さんに安心して治療を受けられる環境を整えています。

矯正歯科一同、他科との連携を深め地域医療に貢献したいと考えております。どうぞよろしくお願い致します。

（歯科矯正学教授 影山徹）



歯科矯正用アンカースクリューによる大臼歯の圧下

アライナーと記す）を採用しています。矯正歯科では近年2つの大きな技術革新が挙げられます。矯正用のインプラント（歯科矯正用アンカースクリュー）を臨床に使用することにより、成人の矯正治療における固定源や大臼歯の積極的なコントロールが可能になりました。これにより前歯部開咬や反対咬合の治療成績が向上し、便宜拔牙の割合も減少しています。また、成長期後期の上顎骨の成長発育促進に歯科矯正用アンカースクリューを取り入れており、従来より緻密な顎整形力と矯正力の制御が可能となり、良好な治療成績が得られています。もう一つの技術革新としては、口腔内スキャナーの発展により、患者さんの口腔内を直接的に3Dスキャンングが可能となったことです。三次元ソフトウェア上で歯の排列をおこない、アライナーが作成されます。この技術はカスタムメイドの物作りに非常に

矯正歯科では患者さんのニーズに応えられるよう、大学病院としての治療の質を担保しつつ幅広い矯正治療を提供しております。成長期の矯正治療では上下顎骨の成長発育促進および抑制治療や、正常な咬合発育に欠かせない口腔環境の構築・管理をおこなっています。成人の矯正治療では従来の矯正治療のみならず歯の裏側から矯正を行う舌側矯正治療やカスタムメイドのアライナー型矯正装置（以下



授賞された正村先生（左）と小山先生

細胞除去による病態改善効果を観察された。方法はC57BL/6マウスとApoE^{-/-}マウスの合計129匹を実験に供し、これらのマウスをコントロール、P、DM、AT、P+DM、P+AT、DM+AT、P+DM+ATの8グループに分け、さらに各グループを老化細胞除去薬投与群と非投与群に分け、72週（1・5年）齢まで飼育した。P群は臼歯に絹糸を2週間結紮、DM群はStreptococinとNicotinamideを6週間投与し、2日間投与し誘導、AT群はApoE^{-/-}マウスを適用した。老化細胞除去薬は、Dasatinib[®]とQuercetin[®]溶液（D+Q）を56週齢より4ヶ月間経胃投与し、評価は、歯肉のS-Aβ⁺染色による老化細胞染色面積の計測、μCT解析による歯槽骨吸収、空腹時血糖値、動脈内腔の脂肪沈着率、血清中のIL-6濃度測定を施行した。その結果、マウスは実験終了時86匹に減少し、老化細胞は、すべてのD+Q投与群で有意に染色面積が減少した。さらに、歯槽骨吸収量、血糖値は減少傾向、動脈内腔脂肪沈着率、IL-6濃度は有意に減少した。D+Q投与で老化マウスの老

第56回歯学体開幕 熱き戦い始まる

第56回全日本歯科学学生総合体育大会（全日本歯科学学生総合体育大会連盟主催、大阪大学歯学部事務主管、スポーツ庁後援）の夏期部門が7月31日（水）から8月13日（火）まで、競技ごとに全国に会場を分散させ、開催されている。

全国に29ある歯学大学や歯学部の学生が、日ごろの練習の成果を



発揮し、競技を通じて交流を深める大会で、昨年の第55回大会より3競技多い22競技が、13都府県の会場に分かれて行われる。本学は、準硬式野球、硬式庭球、サッカー、ゴルフ、バドミントン、バレーボール、バスケットボール、剣道、弓道、日本拳法、水泳の11競技に出場する。前回大会で男女総合3位のゴルフや、団体4位の日本拳法をはじめ、全競技での学生たちの健闘が期待される。

第56回全日本歯科学学生総合体育大会夏期部門日程（本学が出場する部門のみ掲載）

部 門 名	7 / 31 (水)	8 / 1 (木)	2 (金)	3 (土)	4 (日)	5 (月)	6 (火)	7 (水)	8 (木)	9 (金)	10 (土)	11 (日)	12 (月)	13 (火)
準硬式野球（長崎大学歯学部）										●	●	●	●	▲
硬式庭球（大阪大学歯学部）				●	●	●	●							
サッカー（徳島大学歯学部）						●	●	●	●	●	▲			
ゴルフ（日本歯科大学生命歯学部）	●	●												
バドミントン（大阪大学歯学部）					●	●	●	●						
バレーボール（広島大学歯学部）							●	●	●	●				
バスケットボール（大阪大学歯学部）							●	●	●	●	●	●		
剣道（大阪大学歯学部）			▲	●	●									
弓道（九州歯科大学）										▲	●	●	●	●
日本拳法（日本大学松戸歯学部）				●	●									
水泳（東京歯科大学）				▲	●	●								

（開会式：7月31日（水）） ●：試合日、▲：練習日・予備日等

化細胞除去効果と各疾患の病態改善が観察されたことから、歯周病をはじめ糖尿病、動脈硬化症に対して老化細胞除去療法が効果的であると結論づけた。

（集雲幹事長 大須賀直人）

Alumni News

松本歯科大学校友会

奈良県支部

総会を開催し、懇親会でお互いの近況を報告

6月9日(日)に松本歯科大学校友会奈良県支部総会を開催しました。
新入会員1名も参加して下さい、総勢11名での総会となりました。
活発な質疑応答の後、懇親会に移行しました。



話が弾む奈良県支部の先生たち

会員の皆様はご健勝で過ごされたようで、お互いの近況を報告して楽しい一時を過ごしました。
和気藹々と話しが弾み、今までの催し物の改善の提案もあり実りのある懇親会でした。
次は新年会での再会を約束して閉会しました。
(9期生 岩城克安)

『歯科医療は楽しくて生きがいがある素晴らしい仕事』

— 50年の臨床経験から歯科世界への期待 —

本学25期生・今井美恵先生の、河原英雄先生に歯科医師人生を振り返っていただいたインタビューの2回目を紹介します。

先生は1970年代からインプラント治療や審美歯科を診療に取り入れた日本の歯科界の草分け的存在です。審美歯科協会設立や日本顎咬合学会での活動について教えてください。

1977(昭和52)年、当時は新しい治療法であったセラミックインプラント治療に取り組み、治療後は患者さんと一緒にお寿司を食べに行つて、「噛めるかどうか?」「患者さんの満足度」などを確かめました。「フールドテスト」です。1985年にはハワイ・マウイ島で開催された第10回AAED(アメリカ審美歯科学会)から声がかかり、

セラミックインプラントの臨床を発表しました。当時の日本の学会は歯内療法・補綴など、それぞれの専門だけのテーマでの発表でしたが、審美歯科学会には補綴・保存・ペリオ・インプラント・映画関係の歯科・老眼の話・美容の話などなど。
帰国の飛行機の中で糸瀬正通先生と、日本でも同じ学会を創ろうと、下川公一、筒井昌秀、清野尚先生に声をかけて、日本審美歯科学会を発足しました。「協会」としたのは「学会」はいずれ大学の先生方が発足されるだろうということで、我々開業医の集まりは入会資格を40歳以下と決め、学会には絶対

新教授紹介

(2024年4月1日付就任)

生化学講座

教授 中村 美どり



中村 美どり 教授

このたび、松本歯科大学生化学講座教授を拝命いたしました。学内および校友の皆様にご挨拶申し上げます。本学出身の女性で初の教授職に就くこととなりました。これはすべて、理事長先生はじめ皆様方の温かいお力添えと家族のサポートの賜物と思っております。

私は、松本歯科大学16期生で、卒業直ちに小児歯科学講座に入

局し、教育・臨床・研究を行つてまいりました。結婚・出産の後、学位取得のため生化学講座にて研究をさせていただき、愛知学院大学で学位を取得、その縁で生化学講座に移籍いたしました。病院では、現在でも小児歯科での診療をご許可いただき、日本小児歯科学会専門医指導医を取得いたしました。

研究では、破骨細胞からの骨の再生を目指しております。破骨細胞は骨を壊す細胞として知られていますが、実は骨を作る骨芽細胞を助ける働きを持っています。過去の骨粗鬆症治療薬では、破骨細胞の働きを抑えることにより骨折を防いできました。現在は、破骨細胞の働きを過度に止めず、新しいしなやか

な骨を作るような薬の開発が行われています。臨床歯科医としての視点を失わずに、そのような研究に取り組んでいきたいと考えております。

今後も、皆様のご教授を受けながら、私の理想とする『教授像』に近づけるよう、本学学生の学力向上と患者様の健康、そして世界に羽ばたく研究に力を尽くしていきたいと考えております。よろしくお願い申し上げます。

中村 美どり 教授 略歴

- 1993年 3月 松本歯科大学歯学部卒業
- 1999年 3月 松本歯科大学小児歯科学講座 助手
- 2004年 2月 愛知学院大学より博士(歯学)学位受領
- 2004年 6月 日本骨形態計測学会賞受賞
- 2010年 4月 松本歯科大学大学院歯学独立研究科研究指導教員
- 2010年 4月 松本歯科大学病院樹状細胞ワクチン療法室技術員
- 2013年 11月 松本歯科大学口腔生化学講座 准教授
- 2024年 4月 松本歯科大学生化学講座 教授



河原英雄先生

に出席義務を確認して、当時のベテランの先生方には、声をかけずに「協会」ということにして、30人ぐらいでスタートしました。現在では300人弱の会員がいらつしやるようです。
月に1回その仲間と審美歯科のディスカッションを時間無制限で深夜まで語り、切磋琢磨し素晴らしい仲間、患者さん、そして素晴らしいスタッフに支えられて楽しい診療をしていました。

移転先は特に親戚や知り合いがいるわけでもない。時々魚釣りに行つた縁もゆかりもない大分県佐伯市を選び、2002年移転開業しました。開院した周囲には家が7軒しかない本物の無菌科医村でした。しかし、移転して2年で周囲の人々の歯科治療は終わってしまいました。そこで軽自動車を購入して近隣の高齢患者さんの送迎を女房が行うようにいたしました。送迎するにも土地勘がないので、前日から予定ルートを女房と確認

先生は大分県佐伯市で開業、高齢者歯科、総義歯調整で高名ですが、福岡から佐伯に移転したきっかけを教えてください。ただけですしょうか?

1965年、5年生の折に無菌科医村のボランティアに行きました。680人の診療を行いました。治療の内容は問題ある歯を抜歯するだけで、おおよそバケツいっぱい抜歯しました。歯がなくなった村人の「噛

化学

教授 山下 照仁



山下 照仁 教授

このたび、化学教授に就任させていただきました。学内・校友の皆様、本紙面をお借りしてご挨拶申し上げます。

米国留学中にお声がけいただき、自然豊かな信州の地に赴任して早二十余年、上司・同僚・大学院生に恵まれ、また素直な学生らと共に学びを深め、これまで研究および教育に邁進してまいりました。

教育面では、基礎化学や有機化学の講義・実習を担当し、医療職として必要な化学的現象を理解する手助けと科学的思考ができるよう、なぜ?どうして?を足掛かりに指導してまいりました。これからは、不確実性の時代にも耐えうる歯科医師の教養教育を担っていく所存です。

研究面では、骨代謝の一端を

かっていますか?。この話を

拝聴して、私は歯科医師が提供する入れ歯について本気で取り組まなければ、これからの歯科歯科介護連携の時代の中で歯科の将来は誰にも相手にされないと感じました。

次号に続く

Matsumoto Dental University SNS Information



LINE



X



Instagram



facebook

山下 照仁 教授 略歴

- 1991年 3月 東京大学薬学部卒業
- 1997年 3月 東京大学大学院生命薬学専攻修了 博士(薬学)
- 1997年 4月 東京医科歯科大学難治疾患研究所 助手
- 1999年 6月 米国ロチェスター大学メディカルセンター病理学に留学
- 2003年 4月 松本歯科大学口腔生化学講座 講師
- 2004年 4月 松本歯科大学総合歯科医学研究所 講師
- 2013年 4月 松本歯科大学総合歯科医学研究所 准教授
- 2024年 4月 松本歯科大学化学 教授

担当破骨細胞を手掛かりに、骨芽細胞や骨細胞の協奏的な機能を解明してまいりました。引き続き、遺伝子組換え動物や組織培養を用いた解析手段により硬組織研究の発展に寄与していきたいと思っております。

- 〔採用〕 7月1日付 齊藤 恵 専務理事兼事務部長 契約職員
- 藤井 加代 事務理事兼事務部長 契約職員
- 中村 叶 手術室看護師 契約職員
- 小林 育子 (事務局次長) 事務部長 契約職員
- 7月8日付 小平 千晶 病棟科長兼事務部長 契約職員
- 7月12日付 梶原 和恵 (事務局次長) 事務部長 契約職員

8月行事予定

- 1日(木) 一日体験入学(歯学部)
- 4日(日) 一日体験入学(歯学部)
- 18日(日) 一日体験入学(歯学部)
- 19日(月) 一日体験入学(歯学部)
- 後期授業開始(第4学年)
- 26日(月)〜9月7日(土) 定期試験 第1〜3学年
- 28日(水) 発表会(大学院)

受験生の皆さんへ



見せてほしい 君の個性 君の情熱

一日体験入学

- ①8月1日(木) ②8月4日(日)
- ③8月18日(日)

※8月開催分のみ掲載

開催時間 9:30〜15:00 (受付9:00〜)

- キャンパスツアー ●ランチ体験
- 模擬実習 ●入試説明 ●進学相談 など

※参加希望の方は、本学ホームページまたは下記までご連絡ください。

■お問い合わせ■

HOT LINE 0263-54-3210
松本歯科大学 入試広報室
www.mdu.ac.jp